

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月8日

【四半期会計期間】 第97期第2四半期
(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 櫻田 誠 司

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部本部長 木 船 亨

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部本部長 木 船 亨

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第2四半期 連結累計期間	第97期 第2四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	10,047,591	9,660,626	19,634,486
経常利益 (千円)	937,050	1,026,367	1,573,892
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失() (千円)	136,039	736,081	344,019
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	361,385	536,330	288,044
純資産額 (千円)	16,136,393	16,367,609	16,209,679
総資産額 (千円)	22,397,162	21,604,198	22,162,833
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損 失金額() (円)	5.07	27.41	12.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	72.4	76.3	73.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	833,728	348,018	1,219,075
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	60,216	547,605	565,570
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	414,347	441,784	807,569
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,055,735	3,033,227	3,673,473

回次	第96期 第2四半期 連結会計期間	第97期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又 は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	14.94	15.73

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績、雇用環境に改善が見られる等、景気は総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦問題の影響懸念等、先行き不透明な状況は続いております。

精糖業界においては、砂糖消費の減少傾向が続くなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食等、厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,660百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益874百万円（同12.2%増）、経常利益1,026百万円（同9.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は736百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失136百万円）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

製品の荷動きについては、10連休となったゴールデンウィーク前の駆け込み需要で期初は好調であったものの、その反動や長く続いた梅雨寒、突然の猛暑により、飲料関係を中心に低調に推移し、また加糖調整品や他甘味料等の影響もあり、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では販売数量の減少が響き、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高5,445百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益863百万円（同2.3%減）の減収減益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用、血中脂肪の低減効果、食後の血糖値の低減効果に関する3つの機能性表示を活用した機能性表示食品の新商品に採用されたことに加え、低糖質、腸活の需要により国内の販売が増加し、増収となりました。切花活力剤「キープ・フラワー」については、テレビCMの通年実施、業務用向け新製品の販売を実施し、概ね前年同期並みの売上高となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)はブレンド品、機能性素材の販売が伸びましたが、主力製品であるコラーゲン及びゼラチンの販売が減少し、減収となりました。

利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.において、前第2四半期に減損損失を計上したことにより減価償却費の負担が軽減され、業績が改善いたしました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高3,812百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益207百万円（同75.9%増）の減収増益となりました。

不動産

不動産の業績は、売上高307百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益254百万円（同4.7%減）の減収減益となりましたが、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

その他食品

その他食品は、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高95百万円（前年同期比21.4%減）、営業損失31百万円（前年同期 営業損失47百万円）の減収増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2.5%減少し、21,604百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ7.1%減少し、9,822百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、11,781百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる長期貸付金の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ13.1%減少し、3,710百万円となりました。これは主に買掛金の減少、未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ9.4%減少し、1,526百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.0%増加し、16,367百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ640百万円減少し、3,033百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、348百万円（前年同期比58.3%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少額等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、547百万円（前年同期比809.4%増）となりました。これは主として、長期貸付けによる支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、441百万円（前年同期比6.6%増）となりました。これは主として、配当金の支払額等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、31百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2-1-1	8,153	30.36
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8	2,459	9.16
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,902	7.09
和田製糖株式会社	東京都中央区新川2-9-1	1,226	4.57
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.95
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	758	2.82
小倉運輸有限公司	神奈川県横浜市神奈川区菅田町2334-1	669	2.49
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	600	2.23
株式会社サカタのタネ	神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1	563	2.10
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.67
計		17,570	65.43

(注) 所有株式数の割合は自己株式2,895千株を控除して計算しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,839,300	268,393	
単元未満株式	普通株式 13,000		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,393	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,900		2,895,900	9.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,373,473	2,733,227
受取手形及び売掛金	2,702,826	2,459,972
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,118,084	2,106,043
仕掛品	139,172	88,305
原材料及び貯蔵品	909,946	1,123,867
その他	1,035,346	1,012,500
貸倒引当金	1,964	1,540
流動資産合計	10,576,885	9,822,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	466,637	448,577
機械装置及び運搬具(純額)	116,644	123,733
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	-	15
その他(純額)	89,643	90,600
有形固定資産合計	3,200,360	3,190,362
無形固定資産		
のれん	145,853	91,858
その他	128,231	138,771
無形固定資産合計	274,084	230,630
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163,389	5,873,495
関係会社長期貸付金	1,689,800	1,720,200
その他	280,907	791,161
貸倒引当金	22,594	24,028
投資その他の資産合計	8,111,502	8,360,828
固定資産合計	11,585,948	11,781,821
資産合計	22,162,833	21,604,198

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,461,566	1,198,003
短期借入金	1,426,020	1,431,470
未払法人税等	500,264	269,764
賞与引当金	114,408	110,927
その他	765,120	699,931
流動負債合計	4,267,380	3,710,099
固定負債		
長期借入金	466,082	331,082
退職給付に係る負債	22,670	7,637
資産除去債務	66,652	66,990
その他	1,130,368	1,120,780
固定負債合計	1,685,773	1,526,489
負債合計	5,953,153	5,236,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,724,125	12,096,481
自己株式	717,126	717,126
株主資本合計	14,580,802	14,953,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,727,271	1,547,689
為替換算調整勘定	41,938	22,714
退職給付に係る調整累計額	45,575	42,984
その他の包括利益累計額合計	1,723,634	1,527,419
非支配株主持分	94,757	112,970
純資産合計	16,209,679	16,367,609
負債純資産合計	22,162,833	21,604,198

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,047,591	9,660,626
売上原価	7,416,986	6,905,721
売上総利益	2,630,604	2,754,904
販売費及び一般管理費	1 1,851,210	1 1,880,728
営業利益	779,394	874,176
営業外収益		
受取利息	13,755	15,765
受取配当金	39,720	40,001
為替差益	31,627	14,774
持分法による投資利益	79,846	81,985
その他	18,870	12,675
営業外収益合計	183,819	165,203
営業外費用		
支払利息	15,773	11,576
貸倒引当金繰入額	5,782	-
その他	4,607	1,436
営業外費用合計	26,163	13,012
経常利益	937,050	1,026,367
特別利益		
固定資産売却益	4	-
投資有価証券売却益	503,769	12
特別利益合計	503,773	12
特別損失		
減損損失	2 1,141,732	-
投資有価証券売却損	-	14,381
特別損失合計	1,141,732	14,381
税金等調整前四半期純利益	299,092	1,011,997
法人税、住民税及び事業税	466,067	262,447
法人税等調整額	10,339	17,947
法人税等合計	476,406	280,395
四半期純利益又は四半期純損失()	177,314	731,602
非支配株主に帰属する四半期純損失()	41,275	4,478
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()	136,039	736,081

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	177,314	731,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,371	179,582
為替換算調整勘定	51,262	18,280
退職給付に係る調整額	2,562	2,591
その他の包括利益合計	184,070	195,272
四半期包括利益	361,385	536,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,615	542,126
非支配株主に係る四半期包括利益	43,770	5,796

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	299,092	1,011,997
減価償却費	139,437	57,521
のれん償却額	53,994	53,994
減損損失	1,141,732	-
賞与引当金の増減額(は減少)	2,695	3,506
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,874	1,009
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	9,013	11,307
受取利息及び受取配当金	53,476	55,767
支払利息	15,773	11,576
為替差損益(は益)	31,627	14,774
持分法による投資損益(は益)	79,846	81,985
投資有価証券売却損益(は益)	503,769	14,369
固定資産売却損益(は益)	4	-
売上債権の増減額(は増加)	81,993	243,929
たな卸資産の増減額(は増加)	181,185	149,215
その他の流動資産の増減額(は増加)	8,575	20,079
仕入債務の増減額(は減少)	214,911	264,331
その他の流動負債の増減額(は減少)	29,822	61,743
その他	38,994	506
小計	962,498	772,352
利息及び配当金の受取額	71,345	72,414
利息の支払額	15,805	12,697
法人税等の支払額	184,309	484,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	833,728	348,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	107,197	65,518
有形固定資産の売却による収入	131	-
無形固定資産の取得による支出	7,565	24,738
投資有価証券の取得による支出	684	720
投資有価証券の売却及び償還による収入	33,448	74,971
長期貸付金の回収による収入	431,650	458,400
長期貸付けによる支出	410,000	990,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,216	547,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	18,771	-
長期借入れによる収入	-	3,001
長期借入金の返済による支出	100,162	139,031
自己株式の取得による支出	36	-
リース債務の返済による支出	-	10,379
配当金の支払額	295,376	295,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	414,347	441,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,545	1,126
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	362,709	640,245
現金及び現金同等物の期首残高	2,643,407	3,673,473
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	¹ 49,617	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	² 3,055,735	² 3,033,227

【注記事項】

(会計方針の変更等)

(IFRS 第16号「リース」)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が785千円増加し、流動負債の「その他」が21,035千円及び固定負債の「その他」が53,503千円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は68,350千円減少しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出が10,379千円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が10,379千円増加しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
太平洋製糖(株)	387,500千円	362,500千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
販売奨励金	175,170千円	171,355千円
販売手数料	64,848千円	61,908千円
貸倒引当金繰入額	292千円	423千円
運賃	313,269千円	318,106千円
役員報酬	73,083千円	82,876千円
執行役員報酬	64,149千円	64,834千円
給料手当	357,110千円	353,697千円
減価償却費	39,234千円	41,174千円
賞与引当金繰入額	107,117千円	99,561千円
退職給付費用	12,930千円	18,274千円
租税公課	48,489千円	39,988千円
のれん償却額	53,994千円	53,994千円

2 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

(1) Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.

場所	用途	種類
タイ国ラチャブリ県	イヌリン生産設備	機械装置等

当社グループは、会社又は管理会計上の区分に基づいて事業用資産をグルーピングしております。

連結子会社であるFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、業績が策定した事業計画から下回って推移していることに伴い、生産設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(982,817千円)として特別損失に計上しました。なお、当該固定資産の回収可能価額については使用価値により測定しており、零として算定しております。

減損損失の内訳は、以下のとおりであります。

建物及び構築物	269,341千円
機械装置及び運搬具	645,001千円
その他(有形固定資産)	68,276千円
その他(無形固定資産)	197千円
計	982,817千円

(2) DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.

場所	用途	種類
タイ国アユタヤ県	製パン生産設備	機械装置等

当社グループは、会社又は管理会計上の区分に基づいて事業用資産をグルーピングしております。

連結子会社であるDAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.において、継続的な営業損失の計上により減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、生産設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(158,914千円)として特別損失に計上いたしました。なお、当該固定資産の回収可能価額については使用価値により測定しており、零として算定しております。

減損損失の内訳は、以下のとおりであります。

建物及び構築物	38,345千円
機械装置及び運搬具	109,102千円
その他(有形固定資産)	9,529千円
その他(無形固定資産)	1,937千円
計	158,914千円

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 前第2四半期連結累計期間よりFUJI NIHON (Thiland) Co.,Ltd.及びUNITEC FOODS KOREA Co.,Ltd.を連結子会社の範囲に含めたことによる現金及び現金同等物の増加額であります。
- 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	2,755,735千円	2,733,227千円
有価証券勘定	300,000千円	300,000千円
計	3,055,735千円	3,033,227千円
預入期間が3か月を超える定期預金		
現金及び現金同等物	3,055,735千円	3,033,227千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月21日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	2018年3月31日	2018年6月5日	利益剰余金

- 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月20日 取締役会	普通株式	295,374	11.00	2019年3月31日	2019年6月4日	利益剰余金

- 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,726,898	3,891,419	307,416	121,856	10,047,591		10,047,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,146	1,362	2,128	10,092	16,729	16,729	
計	5,730,045	3,892,781	309,544	131,948	10,064,320	16,729	10,047,591
セグメント利益 又は損失()	884,012	117,737	266,808	47,847	1,220,711	441,316	779,394

(注) 1 セグメント利益の調整額 441,316千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて982,817千円、「その他食品」セグメントにおいて158,914千円の減損損失を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,445,548	3,812,096	307,173	95,808	9,660,626		9,660,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,526		2,922	10,477	16,927	16,927	
計	5,449,074	3,812,096	310,096	106,286	9,677,553	16,927	9,660,626
セグメント利益 又は損失()	863,533	207,120	254,165	31,658	1,293,161	418,985	874,176

(注) 1 セグメント利益の調整額 418,985千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	5.07円	27.41円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失()(千円)	136,039	736,081
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	136,039	736,081
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月7日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 中 康 宏

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 箕 輪 恵 美 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。